

平成28年10月12日
西部農林振興センター県央事務所農業普及部大田支所

標 題 地域を担う2名の認定新規就農者が誕生！

(ダイジェスト)

去る8月31日、平成28年度第2回大田市認定農業者等審査会が開催され、20歳代と30歳代の男性2名から提出された青年等就農計画が認定されました。

両者とも畜産を主体とする複合経営を目指しており、地域とりわけ大田市の畜産を担う若手農家として、今後の活躍が期待されます。

審査会では、申請者からは「子供の頃から牛が好きだった。これからは自分で責任を持って経営したい。」「地元で盛んな肉用牛の規模拡大を目指したい。」などといった力強い就農への決意が表明されました。

2名の申請者のうちの1名は、父親から水稲と畜産部門を継承するとともに、新たに施設野菜（メロン・レタス）部門を開始する計画で、次代の温泉津メロンの担い手としても期待されています。また、もう1名は、父親から畜産部門を継承し、新たに露地野菜部門を開始する計画で、学校給食向けの野菜生産者として、また、アスパラガスの新規栽培者として期待されています。

当大田支所としては、昨年度から各作目担当が連携し、両者の就農計画作成を支援してきました。畜産部門においては、父親の飼養・経営実績を基に動態計画や収支計画を作成し、野菜部門では、農業士等の指導農家の助言を受けながら、作業等畜産部門と組合せがよく、比較的収益性のよい品目選定に留意しました。牛や機械等の具体的な継承については、経営コンサル事業を活用し、税理士の助言を得ながら、計画作成を支援しました。

また、今年7月からは、月1～2回のペースで、パソコン農業簿記研修会を開催し、就農4年目の認定新規就農者を加え、3名の若手畜産農家が複式簿記の知識習得に励んでいます。

当大田支所としては、畜産を経営の基幹とする若い担い手の早期の経営安定に向け、関係者一丸となって技術と経営の両面から支援していきます。



認定新規就農者審査会



農業簿記研修会

担当者	大田地域振興課 成相翔太	TEL 0854-84-9708
-----	--------------	------------------